

高専通信

苫小牧工業高等専門学校

National Institute of Technology, Tomakomai College



新入生へ贈る言葉
各副校長ご挨拶
新入留学生紹介
卒業生・修了生へ贈る言葉
平成28年度進路状況

vol.145

新入生へ贈る言葉

苫小牧工業高等専門学校 第9代校長 黒川 一哉

苫小牧工業高等専門学校に入学されました新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

今年度は、外国人留学生4名、編入学生1名を含めた本科生206名と、専攻科生23名の合計229名の学生が本校に入学致しました。ご家族の皆様にとりまして、お慶びはひと塩のことかと存じます。本校教職員ならびに在校生を代表して心からお祝いを申し上げます。

皆さんが入学されました苫小牧高専は、全国に設置された国立工業高等専門学校の第3期校の一つとして、昭和39年度に創設されました。以来、53年で7,700名という多くの優秀な卒業生・修了生を社会へ送り出してきました。卒業生・修了生は産業界を中心に学界、行政機関など広範な分野において活躍し、工業および科学立国を標榜する我が国のものづくり技術を通して、社会の発展に大きく貢献してきました。皆さんの諸先輩の長年にわたる活躍が、これまでの高専に対する国の内外からの高い評価に繋がっています。

皆さんはその先輩の歴史を引き継ぎ苫小牧高専で過ごすことになりますので、その心構えについて少しお話させていただきたいと思います。

ご承知のように、本校では昨年度から創造工学科という1学科制に移行しています。これは、入学してから1年間いろいろな実験・実習と授業を体験し、自分が本当にやりたい専門をしっかりと見つけてもらうためと、工学あるいはものづくりはひとつの専門だけでなく、多くの専門が融合して成り立っているんだということを先ずは体得してもらいたいためです。皆さんは是非このことを認識して授業を受けるようにしてください。

それともうひとつ大事なことがあります。それは、勉強は「自らすすんで行う」ということです。本日から皆さんは大学と同じ高等教育機関の学生であるということを自覚して勉強していただきたいと思います。皆さんはこれまで小学校、中学校である程度定められた範囲内で勉強をしてきたと思いますが、これからはその範囲を超えて無限に広がった学問の世界に足を踏み入れることになります。どれだけ自分の頭や身体に吸収し、それを活用して社会のために貢献できるようになるかは皆さんの心構え次第です。どうか皆さんは、受け身型の勉強から脱却し、“自ら進んで”勉強するんだということを意識してください。

さて、我が国の教育は大きな変革を始めています。その具体のひとつはグローバル化への対応です。今や様々な分野で国と



国との間の障壁が低くなってきています。そのような状況を考慮してグローバル化が必要になっているわけですが、そのためには単にコミュニケーション手段だけの問題だけではなく、相手の国や人々の歴史、風土、宗教などに基づいた考え方を理解しなければなりません。皆さんは主に工業・工学の分野で働くことになると思いますが、リベラルアーツと言われているいわゆる社会科学系科目も是非積極的に勉強するようにしてください。

また、現在は第4次産業革命時代と言われているように産業構造も大きく変革しています。物と物をつなぐIoT、ロボット、ドローンなどの例で判ると思いますが、工学はいろいろな専門分野の融合で成り立っています。皆さんは、それぞれの専門にしっかりと足を置くことは勿論ですが、関連する専門分野の方々ともコミュニケーションが取れなければなりません。是非このことを認識して幅広い知識を身に付け、それを活用できるように自ら研さんしてください。

さらに一言付け加えさせていただきます。皆さんには、日本および世界の状況を鑑み、自分が将来どのような分野で、どのような形で社会に貢献したいのかという目標をできるだけ早くもち、そのために今何をすべきかということを常に考えて、有意義な5年間を苫小牧高専で過ごしていただきたいと思います。また、勉学のみならず、クラブ活動、寮生活、ボランティア活動など様々な活動に積極的に参加し、人間としての幅と奥行きを広げ、自主・自律の道を拓く力をつけて下さい。本校には皆さんの支えになる優秀な教職員が揃っています。教職員の方々に何でも気軽に相談してください。

最後になりますが、本校の教育理念は「豊かな人間性及び自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人を育てる」ことです。この理念には、他の人を思いやる広い心を持ち、難題に立ち向い解決することができ、そして社会に貢献できるひとに育ってほしいという願いが込められています。皆さんには、苫小牧高専の学生としての自覚と誇りを持ち、充実した有意義な学生生活を通して、技術者としての素養と能力とを磨き上げ、自信をもって苫小牧高専を巣立ってくださることを教職員一同強く願っています。

平成29年4月5日





機械工学科5年 瀧本 裕仁

新入生の皆さんは、そろそろ新しいクラス・生活に少しずつ慣れてきたところでしょうか。皆さんは“創造工学科第2期生”です。僕達でさえ知らない未知の世界が広がっているはずです。まずは、同じ創造工学科の2年生に色々な事を聞いてみるといいでしょう。この先輩は優しく何でも教えてくれると思いますよ。僕達機械系は、座学・実習を通して知識・技能両面で成長出来ます。毎日の積み重ね（ここ重要）を続ければ、5年後には、将来新たな時代を築ける人間になります。1年後、僕達の後輩になってくれることを期待しています。



電気電子工学科5年 金澤 豊世

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。オリエンテーションを終えてクラスの人も少しずつ打ち解けてきたと思います。高専での5年間をともにする仲間はこれからの人生で大きな宝物になります。これから悔いが残らないように先輩、同級生、先生と交流してたくさんのことを吸収し、部活、行事等、自分が「これがやりたい!」と思ったことに積極的にチャレンジしてください。みなさんが充実した学校生活を送れるよう応援しています。



情報工学科5年 熊谷 真行

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。5年という時間は意外と早く過ぎ去ってしまいます。勉学はもちろんですが、部活動や行事などを全力で楽しんでください。また、友人や先輩、先生方との交流を大切にしてください。そういった日々の中で過ごす5年間で得る経験は、きっと、将来皆さんが社会人として歩みだす時の自信に繋がり、そして、思い出としてかけがえのないものになると思います。皆さんの高専生活が充実したものになるよう応援しています。



物質工学科5年 三浦 公平

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高専の生活にはもう慣れましたか?皆さんは高専という一般の高校とは全くカリキュラムが違う学校で、各系にてエンジニアに必要とされる専門知識を4年間学ぶことになります。応用化学・生物系では化学を中心とした専門知識を学ぶことができます。実験を多く行う系なので、中学の化学の実験が好きだった学生にはとても合った系だと思います。まだ入りたい系を考えていない人に応用化学・生物系について興味を持ってくれば幸いです。高専は他の高校と違い自由な校風で、5年間をどう過ごすかは皆さん次第となります。部活動で仲間と汗を流すのもよし、高専ならではの1か月以上ある夏休みに旅に出るのもよし、学校祭で大盛り上がりするのもよし、1日1日を大事にして青春を謳歌してください。楽しい5年間になることを心から願っています。



環境都市工学科5年 高田 光綺

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。都市環境系では、社会基盤を整える土木工学を学びます。そのため、橋や道路の設計・建設など、公共性の高い仕事に就職することができます。また、実験では班員と協力しながら作業するので、コミュニケーション力が求められます。五つの系の中からどれを選ぶかは、皆さん次第です。よく考えて悔いの残らない選択をしてください。皆さんにとって、高専での五年間はとても大切なものになると思います。勉強だけでなく、部活動や学校行事にも積極的に参加して、たくさん思い出を作ってくださいね。

実り多き5年間で 1年1組担任 片山 ふゆき

4月5日の入学式に始まり、対面式、オリエンテーションと、全てが新しく、目まぐるしい日々を過ごしてきたことと思います。これからの5年間、皆さんを待ち受けているのは、これまで体験したことのないこと、触れたことのないものの数々でしょう。それは楽しいものばかりでなく、時には苦しいものもあるかもしれません。そうした時に力を貸してくれるのが、ここで出会った友人達です。この1組というクラス自体は1年限りですが、是非、お互い手を取り合い、様々なことを共有する仲間として5年間をともに歩んでいってください。

1年生の皆さんへ 1年2組担任 坂下 俊彦

1年2組担任の坂下俊彦です。私は年齢も50代半ば、そして28年もこの学校にいます。正に、「井の中の蛙、大海を知らず」で、進取の気概にも欠けています。他クラスの担任のように、若く、洗練として、皆さんと一緒にクラスづくりに励むようなタイプの教員ではありません。ただ、「されどその深さを知る」で、苦小牧高専のことは色々と知っています。学校生活のことで何か分からないことがあれば聞いて下さい。そういった点で、皆さんのお役に立てれば幸いです。

新入生を迎えて 1年3組担任 金野 幸吉

ご入学おめでとうございます。1年3組担任の金野幸吉です。1年間どうぞよろしくお願い致します。入学当初はかなり緊張した面持ちをしていた学生達ですが、先日の洞爺での1泊2日の第1学年オリエンテーションを境にクラスの雰囲気も和やかになり、友達の輪も広がりつつあるように感じられます。これから5年間という長い学生生活が待っていますが、何事にも積極的に取り組むことで実り多い学生生活にしていって欲しいと思います。大きな成長を期待しています。

創造工学科2期生の皆さんへ 1年4組担任 堀 登代彦

2年連続で創造工学科1年のクラス担任を務めることになりました。昨年度1年間の印象として、未だ自分の専門系が決まっておらず、さらに進学校のような数年後の大学受験もないことから、目標のない宙ぶらりんな状態でズルズル1年間を過ごしてしまった学生も見受けられたようです。また、勉強を怠けて成績が伸びず、希望する専門系へ行き損なった学生も若干名いました。新1年生の皆さんには、このような落とし穴に嵌ることなく、オンとオフのけじめをしっかりとつけて、学業および様々な活動に日々充実した生活を送ることが出来るよう、強く願っています。

2代目、創造工学科の皆さんへ 1年5組担任 蓼沼 正美

苦小牧高専への入学、おめでとうございます。皆さんは、これから5年間の学生生活の中で、たくさんの「おめでとう」をもらうことになると思います。誕生日おめでとう、進級おめでとう、体育大会優勝おめでとう、就職・進学内定おめでとう……そして最後に「卒業おめでとう!!」。そうした「おめでとう」のことがひとつでも多く皆さんのところに届く、そして仲間にも届けられる、そんな5年間にしてもらえたらと思います。おそろくいろんなことがあるでしょう。しかし最後に皆さんが、「ああ、よかったな。」と思って巣立っていってくれることを願っています。

1年5組担任
蓼沼 正美1年4組担任
堀 登代彦1年3組担任
金野 幸吉1年2組担任
坂下 俊彦1年1組担任
片山 ふゆき

各副校長ご挨拶

本年度より総務主事を務めます古崎毅（応用化学・生物系）です。総務主事補の稲川清教授（情報科学・工学系）、高橋芳太准教授（総合自然科学系）と共に、全教職員の協力も得てEIT（ニュージールランド）やTH E i（香港）への学生の派遣支援、学校行事等の情報発信をして参ります。また、学校の種々のシステムの点検評価、防災対策や施設設備改善の計画立案など、学生・教職員が安心して勉強・仕事に励むことができる環境整備にも努めて参ります。

本校は創造工学科に改組して二年目を迎えました。二年生は自ら志望した専門系に配属され、新たな教育プログラムに基づきエンジニアの卵としての専門教育が始まりました。保護者・同窓生・地域の皆様におかれましては、今後とも学校の改革・学生の教育にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副校長（総務主事）
古崎 毅

昨年度より引き続き教務主事となりました八田茂実です。教務主事補の松田先生、佐々木先生、大橋先生、全教職員と協力してより良い学校を目指します。

本校は昨年度から一学科五系の体制の創造工学科に再編され、四月には創造工学科二期生となる新入生を迎えました。現在三・五年生の五学科と教育体制が混在している状況ですが、自習スペースやICT教育環境の整備、授業方法の改善など、よりよい教育環境を提供できるよう進めてまいります。

保護者・地域・同窓生のみならず、未来を担う学生達のためにご協力いただきますようお願い申し上げます。



副校長（教務主事）
八田 茂実

今年度より副校長（学生主事）を担当することとなりました創造工学科の中島です。池田、赤塚、熊崎の三主事補とともに、学生生活全般の指導・助言・支援を行います。

学校は勉学の間であると同時に、青春時代の多くの時間を仲間とともに過ごす生活の場でもあります。学生諸君の学校生活が健全かつ笑顔に溢れ、光り輝く日々となるよう教職員一同全力で支援してまいります。今年度も保護者をはじめ関係各位のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



副校長（学生主事）
中島 広基

本年度、寮務主事を務めます機械系の見藤です。現在学生寮では留学生十名を含め男子二百九十七名、女子五十九名の合計三百五十六名が寮生活を送っております。蒼冥寮（男子）、楓和寮（女子）では私他四名の教員（寮務主事補）、二名の事務職員と一名の事務補佐員、並びに三名の女子寮寮母の体制で寮生の指導を行っております。

入寮より二カ月ほど経ちましたがその間、寮生会主催の新入寮生歓迎会、寮生総会、学生寮防災訓練などが行われ、新入寮生もこれらの行事を通じて、寮生活になれてきたように思われます。また、五年生指導寮生も卒業後の進路が順調に決定しているようです。

今後、六月には寮祭が開催されます。寮生会が企画した各種イベント、スポーツ大会の他、学校長を招いたジンギスカン昼食会などが予定されています。

今後とも寮運営にはいろいろな点でご家庭との協力が必要になります。保護者の皆さまからのご支援、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



副校長（寮務主事）
見藤 歩

副校長（専攻科長・研究主事）を拝命した創造工学科（総合自然科学系）の村本です。二橋創平准教授（機械系）に電子・生産システム工学専攻の専攻主任を、渡辺曉央准教授（都市・環境系）に環境システム工学専攻の専攻主任をお願いしました。関係教職員と協力しながら専攻科の運営に務めていきますのでよろしくお願い申し上げます。

昨年度J A B E E技術者教育プログラム認定継続審査を受けました。審査結果は良好で、今後六年間の認定が可となりました。苦小牧高専の教育の質の高さが改めて第三者評価で保証されたことになりました。

さて、今年度から、専攻科の新しいカリキュラムについて検討を始めます。昨年改組した創造工学科とスムーズに接続することはもちろんですが、特色を有する魅力ある専攻科を目指します。ご期待ください。



副校長（専攻科長・研究主事）
村本 充



新任教員挨拶



創造工学科 総合自然科学系 講師 多賀 健

総合自然科学系・体育教員として着任いたしました多賀健と申します。1～3年生の体育や1年生の保健、4年生のスポーツ社会科学を担当します。

出身は愛知県で、本校に着任する前は9年間千葉県に住んでいました。大学や大学院の期間を含めると、石川県や茨城県に住んでいたこともあり、本州の各地で知り合いがいることや色々な土地柄を学べたことは自分の財産になっています。北海道の地でも新たな出逢いがあることを楽しみにしています。幼稚園の頃からサッカーをしていたので、専門種目はサッカーとなりますが、体育・スポーツの時間では様々な種目を通じて、学生の皆さんと交流できたら嬉しいです。自分の特徴として、見るからに身長が高く、目立ちやすいと思うので、休み時間や放課後も気軽に声を掛けて下さい。これから社会に出ていく1歩手前のこの期間に携わる責任とやりがいを感じながら、学生の皆さんと共に自分自身も成長できたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

新入留学生紹介



情報工学科3年 ビャンバジャブ ムンフエルデネ (ムンフ)

BEGINNING

日本に着いたのは3月29日で、苫小牧に着いたのは3月31日だった。なぜ日本で留学しているかという、モンゴルの将来のためだ。今はモンゴルで何かを作ったり、考えたりするいいエンジニアが必要だからだ。苫小牧にきた日からうれしい、苫小牧はモンゴルと気候が同じで料理もおいしかった。そして、先生たちも本当に明るくて優しいだからお互いに力を入れて頑張ると思う。授業に出た時からクラスの人々と一緒に楽しんで勉強している。そして、部活に入ってたくさんの友達を作りたい。これから3年間一生懸命頑張って先生たちや日本人の友達から色々な事を習って、高専生活を楽しく過ごすと思っている。



環境都市工学科3年 ジョン プウア ツー セン (ジョン)

留学生とは呼ばせない、日本人になる

日本の女性は可愛いですね。私は日本に来てそう感じました。もう高専病にかかってしまったのでしょうか。彼女募集中です。♡

私が日本に留学して来た目的は2つあります。

1つ目は、高専で土木の勉強をして自分の会社を創ることです。私はコンサルタントに興味があります。マレーシアに世界で有名な高いビルを建てて人々の役に立ちたいです。いつかは日本にも自分の会社を建てたいです。首相安倍晋三の家も建てたいです。Hahaha

2つ目は、日本の文化を体験したいです。マレーシアにはあまり温泉がありません。日本は温泉で有名なので、温泉旅行に行きたいです。後日本の刺身が食べたいです。私は昔祖母にこう言われました。生の魚を食べるとお腹の中で魚が泳ぎ始めるぞ。でも日本に来て生の魚を食べても泳ぎませんでした。Hahaha

卒業までの3年間、たくさんの友達を作って幸せな生活を送りたいです。留年しないように頑張ります。よろしくお願いいたします。



環境都市工学科3年 トウムルバータル バーサンドルジ (バースカ)

Smile

私はモンゴルからきました。日本で留学して1年経ったけど日本人に囲まれた生活は今年の3月23日に苫小牧に来たときから始まった。東京に住んでいたとき、みんなで、外国人になったら、理解することが大変になった。しかし、苫小牧高専で勉強することが決まった、嬉しさとともに不安でいっぱいだった。そして、苫小牧高専の学生とはどんな人たちだろうと楽しみにしていた。会ったとき、学生たちも先生たちも優しくて素晴らしい。クラスメートたちは色々助けてくれて心配せずに楽しく勉強している。日本人の学生たちは勉強ができるうえ、スポーツも得意だ。先生たちも本当に優しく教えてくれるから、勉強でもっと頑張りたいという気持ちでいっぱいだった。それから、専門の勉強だけでなく、日本語も頑張って、札幌の色々な有名な場所へ行きたいです。



機械工学科3年 アルヴィン アラン アポイ (アラン)

雪

マレーシアでは一つの季節しかないです。

それは夏という季節です。正直に言って私はあつさにたえられないです。ですから、夜になるといつもエアコンをつけないとなかなか寝れません。そのため「どこかに行けばいいのかな」という考えがあったことがあります。ある時れいぞうこに入りたいという気持ちを持ったこともあります。その上、実際にれいぞうこに入ってしまった経験もあって、その時は本当に気持ちがよかったです。なので、私はずっと寒い地域に行きたかったです。

今、日本の北海道でくらしていることは夢にも思いませんでした。そして、千歳空港を出た瞬間にはなんとなく自分の故郷に戻ってきたような気もしました。とてもありがたい気持ちになりました。やっと、どこにでも自然に存在しているエアコンの空気を感ずることができました。やっとゆきに触れられました！

この日本での生活を楽しく過せるようにサポートをしてほしいです。よろしくお願いします。



学生会の紹介

学生会長 情報工学科5年 藤江 優真

こんにちは。新入生が入学してから早2ヶ月が経ちました。5月末の現在まで、学生会は、対面式や、第1学年オリエンテーションでの学生会懇談会など、新入生に向けての活動を中心に行ってきました。これから春季体育大会や高専祭など、1年生が行事に参加する機会が増えてきます。学生会では行事の円滑な運営はもちろんのこと、1年生が初めて活動する行事で困らないようにサポートをしっかり行っていきたいと思います。

行事予定

前期

4/1(土)~4/4(火)	春季休業
4/4(火)	新入寮生入寮日
4/5(水)	入学式・2~5年生入寮日
4/6(木)	始業式、対面式、第1学年ガイダンス、健康診断
4/7(金)	前期授業開始
4/13(木)~4/14(金)	第1学年オリエンテーション
4/20(木)	開校記念日(通常授業)
4/26(水)	歯科検診
4/27(木)	内科検診
5/2(火)	授業参観
5/23(火)	学生総会
6/5(月)~6/9(金)	中間試験実施期間 ※第3学年オリエンテーション(各学科1日)
6/16(金)~6/17(土)	寮祭
6/21(水)	春季体育大会
7/4(火)	壮行会
7/8(土)~7/9(日)	道内高専体育大会(※一部の競技を除く)
8/2(水)~8/8(火)	前期定期試験
8/10(木)	閉寮日
8/14(月)~9/25(月)	夏季休業
9/25(月)	開寮日

後期

9/26(火)	後期授業開始
10/22(日)	ロボコン
10/21(土)~10/22(日)	高専祭
11/10(金)	保護者懇談会
10/30(月)~11/2(木)	第4学年道外工場見学旅行
11/27(月)~12/1(金)	中間試験実施期間
12/23(土)	閉寮日
12/25(月)~1/5(金)	冬季休業
1/8(月)	開寮日
1/11(木)	総合試験日
1/16(火)	冬季体育大会
1/22(月)	リーダー研修会
2/7(水)~2/14(水)	後期定期試験
2/22(木)	閉寮日
3/16(金)	卒業式・修了式
2/23(金)~3/31(土)	学年末休業

学生課からのお知らせ



本校の学生課は、担当する業務によって4つの係に分かれています。学生生活に直接関係のある各係の主な業務は次のようになっていますので、問い合わせや連絡は各係の直通電話をご利用ください。

なお、学生課には、保護者の皆様などから、電話での問い合わせや連絡などが多数寄せられます。こうした電話に対して、「担当係（担当者）に代わります。」などと、電話を回すことで、ご不便をおかけすることもあります。担当係（担当者）ごとに専門の業務を分担しておりますことをご理解願います。

また、学生の呼び出しや伝言等の取り次ぎについては、緊急を要するもの以外は行っておりませんので、ご承知おきください。

教務係

直通電話 **0144-67-8001**

- ・授業、試験に関すること
- ・休学、復学、退学及び進級、卒業に関すること
- ・在学証明書、成績証明書、卒業証明書などの学生の諸証明に関すること
- ・学生証の申請に関すること
- ・担任に連絡がつかなかった場合の欠席等の連絡



学生係

直通電話 **0144-67-8032**

- ・奨学金（日本学生支援機構等）に関すること
- ・入学料、授業料の免除に関すること
- ・学生の保健管理（カウンセリングの申込等）に関すること
- ・学生の課外活動、行事等に関すること
- ・学生旅客運賃割引証及び通学証明に関すること
- ・就職、進学（大学への編入学試験等）に関すること



寮務係

直通電話 **0144-67-8002**

学生寮教員当直室（夜間緊急用 17:00～8:30） **0144-67-8024**

- ・学生の入寮及び退寮に関すること
- ・寮費の徴収など諸経費に関すること
- ・緊急の場合の外泊の連絡



図書係

直通電話 **0144-67-8907**

- ・図書の閲覧、貸出しに関すること
- ・学術文献の収集及び提供に関すること
- ・その他学術情報センターに関すること



卒業生・修了生へ贈る言葉

苫小牧工業高等専門学校 第九代校長 黒川 一哉

本科卒業生並びに専攻科修了生の皆さん、本日のご卒業、ご修了誠にありがとうございます。また、本日まで立派にご息・ご息女を暖かく育ててこられました保護者の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。

皆さんは本校での思い出や経験を糧として、これから大海に船出することになります。これまで暖かく見守ってくださった保護者の方々や教職員の方々への感謝を忘れず、しっかりと着実に自分の道を切り開いてください。特に、これまで皆さんは保護者の方々や学校に保護されて成長してきたわけですが、これからは自分の力で成長してゆかなければならないということを自覚しなければなりません。すべての責任は皆さん自身が負うことになります。このことを先ずはしっかりと自覚してください。これから社会に出ていろいろなことに悩むことも多いことでしょう。そういうときは、ご家族や本校がこころの故郷です。いつでも相談にいけるんだということも覚えておいてください。

皆さんがこれから歩んでいく道は決して平坦ではないでしょう。世界的に進む人口の急激な増加とそれに伴う食糧やエネルギー資源の不足、環境の悪化、気候変動など、多くの要素が絡み合って産業構造や社会構造も大きく変化してくるでしょう。工学および技術は、このような構造変化に対応する上で非常に大きな役割を果たさなければなりません。それゆえ、工学の分野においてもイノベーション、改革、が求められています。特に、これまでの便利で機能的に優れていることから安全・安心なものづくりに重点がシフトしてくるでしょう。もちろん、これまでの時代も常にイノベーションが求められてきたわけですが、第四次産業革命時代と言われている現在および近未来では特にイノベーションの重要性が増してきます。しかし、イノベーションは基礎の無いところには起きません。しっかりと基礎を土台としてイノベーションを起こすことができるのです。皆さんは本校においてその工学の基礎をしっかりと学びました。このことを自覚して、それぞれの分野でイノベーションということを常に考えて仕事に向き合ってください。失敗を恐れないでください。失敗して初めて成功が生まれます。皆さんもよく知っているウルグアイのムヒカ元大統領の言葉のなかに、「大事なものは、失敗に学び、再び歩み始めること」というのがあります。人は苦しみ、敗北、失敗から多くを学び、以前見えてこなかったことが見えてくるようになるということです。また、長井あつ子さん、この方は谷亮子さんと同じ世代の柔道選手で永遠の二番手と言われ、十度にわたって谷亮子さんに挑戦するも一度も谷さんを破ることができず結局オリンピックには一度も出場できなかった方ですが、その長井さんは「本当の敗北とは試合に負けるのではなく、挑戦をあきらめること」と言っています。本当にその通りだと思います。挑戦しないで諦めることは大きな後悔になります。皆さんには、些細な目標でも構いません、是非積極的な人生を送っていただけることを願っています。

繰り返しになりますが、皆さんには、これからの人生、失敗を恐れず、苫小牧高専の卒業生としての高い志を持って、地域、日本、世界のために貢献する気概を持って充実した人生を送ってくださることを保護者の方々とともに教職員一同心から願っています。

平成二十九年三月十七日



卒業生・修了生から贈る言葉



高専生活を振り返って 機械工学科 杉澤 遥

高専での5年間はあっという間に過ぎたように思います。そして、その間にたくさんの思い出ができました。
4年生でのインターンシップで、色々な人と出会うことはとても楽しいものだと感じました。そして、その経験は就職先に道内企業よりも様々な地域から人が集まる道外企業を選ぼうと思ったきっかけとなりました。
また、5年間で力学を中心に数多くの教科を学びました。半期教科も多く、表面的なことしか学んでいないものもあると思いますが、ここで得たものは今後活かしていきます。また、教科間でのつながりがみえたときは学問の楽しさを感じられました。ご指導いただきました先生方には本当に感謝しています。ただ、テスト期間は大変でした…。
先生方やクラスメート、部活の仲間などがいたからこそたくさんの思い出があるのだと思います。楽しいことばかりではありませんでしたが、とても充実した5年間でした。私を支えてくれた皆さん、ありがとうございました。



高専生活を振り返って 電気電子工学科 諏佐城 一郎

入学した当初はこれから5年間もこの学校に通うのか、長いな～と思っていましたが、今思えばあっという間に過ぎ去った気がします。高専生活を振り返ってみると、レポートに追われたり、専門分野の勉強が難しくなったりと大変だったことも多々ありますが、それを乗り越えたからこそ今の自分に成長できたと思います。それに苦しいことと同じくらい楽しいこともありました。高専では海外研修や課外授業などにも参加でき、私は海外研修でニュージーランドへ行ったことで、自分の世界観を広げることができました。
在校生のみなさんに伝えたいことは一つです。今を精一杯楽しんでください。勉学に励むことは重要だと思いますが、今過ごしているこの時間はもう戻ってきません。「やっと終わった～」ではなく「やりきった!」と思える高専生活を過ごしてってください。
最後になりますが、ご指導いただいた先生方、高専生活をともに過ごしてきた友人たち、そして私を支えてくれた家族に深く感謝申し上げます。



卒業のフレンズより 情報工学科 伊藤 賢一

入学してから今までいろいろなことがありました。レポートや卒業論文の迫りくる締め切り、試験期間の間近に配信されるポケモン GO など、そういった在学中の危機を乗り越えることで大きく成長もできたとも感じています。またクラスメイトの存在は大きく、支えになりました。試験が近くなると愚痴や教えあったりして盛り上がる SNS は印象的です。在学中に得られた関係は今後も長く続くでしょう。一緒に飲みに行ったりイベントに参加したりするのが楽しみです。
苦小牧高専では学業だけでなく部活や学生主体の行事など、様々な経験ができると思います。またときに独学で何かを学び、学校の外の活動などにも参加して、有意義な時間を過ごしてほしいと思います。手を動かして挑戦してみることが大切です。
最後に、今までお世話になった先生方と一緒に過ごした友人、関わったすべての皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



お世話になりました 物質工学科 佐藤 理久

高専生活を振り返ると、部活が一番の思い出です。私は、ハンドボール部に所属していました。部員集めや顧問探しから始まり、足がボロボロになるまでホッケー場で練習したこと、その他にも数え切れない程の思い出が出来ました。この場を借りて、宮崎先生、ハンドボール部員の方々、応援して下さいた皆様に感謝を申し上げます。
5年間の生活にて、多くの実習や課題の中でも特にレポートや、テスト勉強が辛かったのを覚えています。一時は、「こんな勉強をして意味があるのか」などのネガティブな発言を多々言ったりもしていました。しかし今では、投げ出さず頑張ってきたことが一切無駄で無く、自分の為になっていると感じています。在校生の皆さんの中でも不安や、苦痛だと感じている人がいるとは思いますが、一生懸命やっていたら乗り越えられる時が来るので頑張ってください。
最後になりますが、先生方や友達のおかげで素敵な思い出が出来ました。本当にありがとうございました。



贈る言葉 環境都市工学科 中野 裕一郎

北野武は「勉強するから、何をしたいかわかる。勉強しないから、何をしたいかわからない」と言ったそうです。今日、私はみなさんに高専で経験した苦い経験とそこから得た教訓について伝えたいと思います。
高専の1年から3年までは特に勉強で苦労した記憶はありませんでした。しかし、4年生になってから新しくバイトも始めてしまい、元々多趣味であったことも災いして、私は勉強時間が少なくなってしまいました。その結果、勉強についていけなくなってしまいとても焦ってしまったことが苦い思い出としてあります。自分の成長のために趣味を続け、バイトをすることで社会経験を身に付けようとしたことが、本業を疎かにしてしまい本末転倒な結果となってしまいました。勉強は大事なと痛感した年でした。
その経験があって北野武の名言に出会ったとき、この言葉は自分のためにあるようだと感じました。勉強することが自分のためになり、最も成長をする近道なのではないか。高専ではそのことに気が付くことが出来ました。みなさんは5年間でなにに気が付きましたか。



7年間の高専生活 電子・生産システム工学専攻 笠原 隼

私は機械工学科で5年間、電子生産システム工学専攻で2年間、あわせて7年間を苦小牧高専で過ごしました。本科専攻科を通して、勉強、課題、レポートに終わられて大変でしたが、友人と助け合いながらなんとか乗り越えることができました。様々な面で成長できた充実した7年間でした。
私にとって高専は、義務教育を修了してから就職するまでの、人生で最も重要な時間であると考えています。インターンシップや海外研修プログラム等が充実しているのも、授業や部活動以外にも自分が興味を持ったことや、やりたいことをできる環境だと思います。結果を気にせずやってみれば、必ずどこかで役立つ力や経験になります。
最後になりますが、ご指導いただきました先生方、共に学生生活を過ごした友人一同、高専で関わった全ての皆さまに心より感謝申し上げます。



高専生活を振り返って 環境システム工学専攻 大脇 彰真

苦小牧高専に入学し、あっという間に7年間が過ぎてしまいました。寮生活や学業への不安を抱いていた入学当初のことを思い出します。実際に寮生活や学業も辛いときや苦しいときはありましたが、それ以上に小さな悪戯をする授業中、部屋人が増えるテスト期間や必ず友人がいる寮など楽しいときの方が多かった高専生活でした。また、辛かったときや苦しいときの事は、今は笑い話になっているので良い経験になったと思います。
在校生のみなさん、学年が上がるにつれて授業も難しくなりレポートや卒研などで大変になりますが、楽しいことや思い出に残ることは増えてくると思うので充実した高専生活を送ってください。
最後になりましたが、これまでご指導いただいた先生方、高専生活をともに過ごした友人、そして両親に心より感謝申し上げます。

卒業生父母からの言葉

卒業に向けて

物質工学科卒業生 岡本翔太郎／母 岡本 知穂

「化学の実験がたくさんできる学校へ行きたい。」と5年前に本人が希望して入学した苫小牧高専。将来のビジョンも持たないまま入学をしてしまい、難解な学習に学習意欲も成績も潜水艦が海に沈むかのようにゆっくりゆっくりと沈んでいく毎日でした。

担任の先生や物質工学科の先生たちの照らしてくださるサーチライトを遠くに見つけては、なんとか目的地に近づくを繰り返し、なかなか水面に浮上できず、何度も危ない成績で進級をしてきました。

そんな深海のような学校生活でしたが、4年生での工場見学やインターンシップでの企業体験といった貴重な体験の中から将来について考える機会を得ることができました。

たくさんの知識と道筋をつけてくださった、物質工学科の先生たちを始め、一般科目の先生や学校職員の皆さんにお礼申し上げます。

息子の卒業にあたって

情報工学科卒業生 鈴木 大河／母 鈴木恵美子

寮生で口数の少ない息子の生活を知る機会はありませんでしたがバスケットボール部の大会の応援で部員やお母さんたちとお話することで息子の様子も多少わかり、試合の応援が楽しみになりました。先輩お母さんの「高専大会は4校しかないから全国大会もあるかも」という言葉を真に受け、気の早い夫は遠征費の準備をするべく、学校に問い合わせると負担割合などを詳しく教えてくださったあともう何年も行ってないのでおそらく大丈夫とのことで恥ずかしかったそうです。4年間2位でした。最後の年は苫小牧での大会でいつもに比べたくさんの応援があり、なんと優勝することができました。上手な後輩たちのおかげという言葉の通りでしたが、これまでの先輩たちの努力と5年生の頑張りも大きな力だったと思います。卒業した先輩が決勝の試合に勝った瞬間うれし泣きしてくれたことは忘れられません。

息子にとっても私たちにとってもこの5年間は一生の宝物です。たくさんの方にお世話になりました。本当に感謝しています。

卒業式写真



平成28年度本科卒業生及び専攻科修了者の進路状況について

キャリア教育センター長 須田 孝徳

平成28年度卒業生進路状況

学 科		機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	物質工学科	環境都市工学科	合計
求人会社数		585	606	448	347	432	2,418
卒 業 者 数	男	42	36	28	26	31	163
	女	1	3	4	12	3	23
進 学 者 数	男	18	16	8	9	13	64
	女	0	0	2	5	0	7
企 業 等	男	22	19	20	17	13	91
	女	1	3	2	7	2	15
公 務 員	男	1	0	0	0	5	6
	女	0	0	0	0	1	1
進 学 先		北海道大学 (2) 秋田大学 新潟大学 金沢大学 山梨大学 山口大学 鹿児島大学 長岡技術科学大学 苫小牧高専専攻科 (8) 海上保安学校	室蘭工業大学 (5) 宇都宮大学 長岡技術科学大学 (3) 豊橋技術科学大学 (3) 長岡技術科学大学 (2) 苫小牧高専専攻科 (4)	千葉大学 電気通信大学 はこだて未来大学 豊橋技術科学大学 長岡技術科学大学 (2) 苫小牧高専専攻科 (3) 苫小牧高専研究生	北海道大学 (2) 室蘭工業大学 (3) 新潟大学 苫小牧高専専攻科 (8)	北海道大学 (2) 室蘭工業大学 (3) 北見工業大学 豊橋技術科学大学 長岡技術科学大学 (2) 苫小牧高専研究生 (2) 大阪工業技術専門学校	
就 職 先		アナザーアングル JXエネルギー㈱ 出光興産㈱ サントリーホールディングス㈱ ダイキン工業㈱ 電源開発㈱ (Jパワー) 東海旅客鉄道㈱ 東燃ゼネラル石油㈱ (2) 東洋製罐㈱千歳工場 成田空港給油施設㈱ 日本精工㈱ フドテクノエンジニアリング㈱ 北海道旅客鉄道㈱ 王子製紙㈱ ㈱DRD ㈱NTTファシリティーズ中央 ㈱エアロテクノサービス ㈱コスモ設計 ㈱ダイナックス ㈱道央環境センター 三菱電機ビルテクノサービス㈱ 日鉄住金テックスエージ㈱ 富士古河 E&C ㈱ 札幌市	J X エネルギー㈱ KDDI エンジニアリング㈱ NTTコムエンジニアリング㈱ (2) 王子製紙㈱ キヤノンシステムアンドサポート㈱ 東芝メディカルシステムズ㈱ パナソニック㈱オートモティブ &インダストリアルシステムズ社 富士重工㈱ 北海道曹達㈱ 北海道電力㈱ 三菱電機特機システム㈱ 三菱電機ビルテクノサービス㈱ (2) 山崎製パン㈱ ㈱I・TECソリューションズ ㈱ダイナックス ㈱タマディック ㈱ドコモ CS 北海道 ㈱日立パワーソリューションズ ㈱松本鐵工所 ㈱もりもと	NEC フィールディング㈱ NTTコムエンジニアリング㈱ NTTコムソリューションズ㈱ 出光興産㈱ 岩倉建設㈱ ウェルネット㈱ キヤノンシステムアンドサポート㈱ コニカミノルタビジネステクノロジ㈱ シグマインキュベーション㈱ 社会福祉法人緑陽会 セイコーエプソン㈱ ソニーエンジニアリング㈱ デンソーテクノ㈱ 日本7イビエム・ソリューション・サービス㈱ ハイウェイ・ツール・システム㈱ 富士通㈱ 北海道電力㈱ ㈱DNP 情報システム ㈱SEC ㈱セゾン情報システムズ ㈱テクノラボ ㈱ハイマックス	(独) 国立印刷局 ADEKA クリーンエイド ㈱JA むかわ JX エネルギー㈱室蘭製造所 エア・ウォーター・プラントエンジニアリング㈱ (2) 大阪シーリング印刷㈱ 社会福祉法人緑陽会 日鋼検査サービス㈱ ニプロ㈱ 東北北海道警備㈱ 旭化成㈱ 花王㈱ ㈱希松 ㈱ダイナックス ㈱日本触媒 (2) ㈱フルヤ金属 出光興産㈱ 森永乳業㈱ 星光 PMC ㈱ 中北薬品㈱ 日触テクノファインケミカル㈱ 日本ゼオン㈱	NTTインフラネット㈱ 五洋建設㈱ 和成リニューアールワークス㈱ 大成産業㈱ 東海旅客鉄道㈱ 三共鋪道㈱ 苫小牧港開発㈱ 内外エンジニアリング㈱ 北海道ガス㈱ 北海道電力㈱ ㈱アルファ技研 ㈱鴻池組 ㈱シビテック ㈱水工技研 ㈱植崎製作所 北海道開発局 (2) 千歳市 富良野市 岩見沢市 苫小牧市	

平成28年度修了者進路状況

学 科		電子生産システム工学専攻	環境システム工学専攻	合計
求人会社数		486	355	841
修 了 者 数	男	16	10	26
	女	0	2	2
進 学 者 数	男	3	3	6
	女	0	0	0
企 業 等	男	13	5	18
	女	0	2	2
公 務 員	男	0	2	2
	女	0	0	0
進 学 先		北海道大学大学院 (2) 長岡技術科学大学大学院	北海道大学大学院 (2) 長岡技術科学大学大学院	
就 職 先		大阪ガス㈱ 新日本空調㈱ ソニーエンジニアリング㈱ ダイハツ工業㈱ 苫小牧ガス㈱ トヨタ自動車北海道㈱ ファナック㈱ 富士電機㈱ 北海道ガス㈱ 北海道電力㈱ ㈱富士通エフサス ㈱古畑電機 ㈱明電舎	五洋建設㈱ 大日精工工業㈱ 中北薬品㈱ 日鋼検査サービス㈱ 北海電気工事㈱ ㈱大塚製薬工場 ㈱日本触媒 札幌市 北海道庁	

平成28年度の進路状況の特徴としては、本科生対象の求人会社数が5年連続で順調に増加（平成27年度は2,256社、平成26年度は2,069社）し、また専攻科生の求人会社数も高水準で維持していることにあります。本校は「豊かな人間性及び自主自立の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる」を教育理念として教育・研究を実施してきておりますが、その教育を受けた本校のOBが社会で高く評価されたことが、この結果につながっているものと考えられます。

しかしながら、本校の学生も、少子高齢化、人口減少も加速度を増して進展していく激動の時代をこれから生きていかなければなりません。上場しているような大企業であっても、希望退職や早期退職制度を設定するところも増えてくるのが予想され、実質上、終身雇用はなくなってきております。このような中で、仕事に対する自己イメージを持たせるような教育は重要であり、いくつになっても常に自分自身のキャリア・デザインができるような素地をこの高専の在学中に作る必要と考えております。

このようなことを踏まえ、本校では、キャリア講話や創造工学の授業を通して、コミュニケーション力、協調性、多様な価値観への理解、将来の先見性、自分自身の理解など、社会で必要能力を持ってもらえるように、組織的で、かつ体系的なキャリア教育の一層の推進に取り組んでまいります。

地域への貢献と連携、そして地域の発展

地域共同研究センター長 菊田 和重

昨年度に引き続き地域共同研究センター長を務めることになりました菊田（機械系）です。今年度も地域への貢献と連携の更なる強化を皆さんと一緒に進めて行こうと地域共同研究センター一同で考えておりますのでご協力よろしくお願い致します。

学生の皆さんには地域貢献や連携と言ってもなかなかその活動が見えて来ないかも知れませんのでここで少し紹介したいと思います。地域貢献の活動の代表格としては公開講座と出前授業が挙げられます。公開講座は夏休みを中心に小中学生を対象として各系・各センターが各テーマについて実施している科学教室です。数多くの小中学生が来校し、実験や製作に一生懸命取り組んでいます。出前授業は小中学校からの要請に応じて、各系・各センターの先生たちが市内や近郊の小中学校を訪問し、それぞれのテーマでの授業を行っています。多いものは年に5回以上もの出前授業を行っています。

また、市内を中心として100を超える企業が本校の協力会に加入してくれています。学生玄関を入った正面にあるボードにそれらの企業名が掲示されています。地域連携ということでは、協力会の企業の方々に本校の教育に関わっていただいているほか、研究発表会や企業研究会などのイベントと一緒に実施しています。そのほかにも技術・研究開発を一緒に進めています。

苫小牧市とも連携しながら市の活性化に関わる様々なお手伝いを学生や教職員が行っています。

苫小牧市は、現在17万の人口がこのまま何もしないでいると30年後には14万を切ると予想されています。人口減少の勾配を緩やかなものにするためにも地域貢献や連携を通して学校のプレゼンスを高めるだけに止まらず、市の活性化と魅力的な街づくりに少しでも役に立つことができればと考えています。

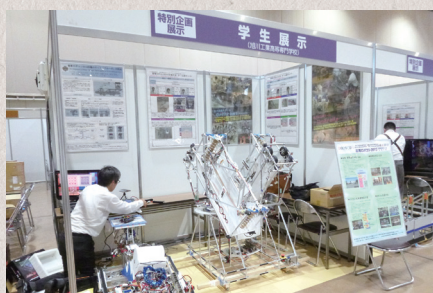
地域共同研究センター一同で頑張りますので、ご支援をよろしくお願い致します。



苫東視察会の様子



出前授業の様子



イベントへの出展

独立行政法人国立工業高等専門学校機構 苫小牧工業高等専門学校

地域共同研究センターの体制(平成29年4月1日～)

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443番地

HP <http://www.tomakomai-ct.ac.jp>

センター長

(所属はいずれも創造工学科)

菊田 和重(機械系) Tel&Fax:0144-67-8010, kikuta@tomakomai-ct.ac.jp

副センター長

岩波 俊介(応用化学・生物系) Tel&Fax:0144-67-8942, iwanami@tomakomai-ct.ac.jp

センター委員

(五十音順)

大西 孝臣(情報科学・工学系)

檜村 奈生(応用化学・生物系)

佐藤 森(応用化学・生物系)

照井 文哉(技術教育支援センター)

- 各種共同研究、受託研究、受託試験、技術相談を承っています。
- 公開講座、出前授業のご要望にもお応えします。

当センターのHP:<http://www.tomakomai-ct.ac.jp/facility/ccrc/>



センター外観



本校の位置



教職員シーズ集

最新版はWeb版をご覧ください。

web版シーズ集:<http://www.tomakomai-ct.ac.jp/collaborate/seeds>

北海道地区産学官連携コーディネータ

鴨田 秀一 Tel:0144-67-8950, Fax:0144-67-0814, kamota@tomakomai-ct.ac.jp

事務部

井上 義彦(総務課長) / 磯部 隆秀(総務課課長補佐)

企画調査係

富塚 直樹(係長) Tel:0144-67-8901

築田 星子

Tel:0144-67-8926

Fax:0144-67-0814, kikaku@tomakomai-ct.ac.jp

退職にあたって



創造工学科特任教授
(機械系担当)
加島 正

今から12年前、私は苫小牧高専に赴任しました。私の生まれは北海道ですから、長い航海の後、故郷に帰ってきた安心感がありました。もともと教育・研究が性に合っていたので、勝手知ったるこの地でキャンプをして学生と語り、(ジュースを)飲み明かしたり、学会での発表の後、やはり語り、飲みあかしました。学生の皆さんと楽しい充実した時間を過ごすことができました。高専で感じるのですが、皆さんは是非自分達の知力に自信を持ってほしいと思います。皆さんは十代の半ばから数理の世界に親しんでいます。つまり、最も吸収力があるときに工学の英才教育を受けていると思うのです。将来活躍する姿が目に見えます。私は退職後のことなどを悠長に考える余裕もなく、あっという間に今日を迎えてしまいました。大学を卒業してからずっと海のそばにいましたから、先ずは釣りでもしながら、新たな楽しみを探すことにします。教職員のみなさま、そして学生のみなさん、長い間本当にお世話になりました。

人事異動

平成二十九年三月三十一日付

〔定年退職〕

創造工学科教授
(都市・環境系担当)

浦島 三朗

〔辞職〕

創造工学科教授
(総合人文科学系担当)

平野 道雄

創造工学科准教授
(北海道清水高等学校長)

宮崎 晃行

〔雇用期間の満了〕

創造工学科特任教授
(機械系担当)

加島 正

特命教授
(地域共同研究センター)

玉置 昭文

〔辞職〕

事務職員・技術職員
総務課人事係長

三浦 司

(北海道大学研究推進部研究振興
企画課係長(総務担当))
総務課施設管理係長

海老田憲人

(北海道大学病院管理課係(設備
担当))

立蔵 祐樹

〔雇用期間の満了〕

技術補佐員(菊田教授研究室)

高橋 薫

事務補佐員(菊田教授研究室)

齋藤 静夫

学生課事務係臨時用務員

平成二十九年四月一日付

教育職員

〔採用〕

創造工学科講師

(総合自然科学系担当)

多賀 健(新規採用)

創造工学科助教(電気電子系担当)

奥山 由

(創造工学科特助教)

〔昇任〕

創造工学科准教授

(電気電子系担当)

赤塚 元軌(創造工学科助教)

創造工学科准教授

(総合自然科学系担当)

佐藤奈々恵(創造工学科講師)

〔再雇用〕

創造工学科特任教授(フルタイム)

(機械系担当)

創造工学科特任教授(フルタイム)

(都市・環境系担当)

創造工学科嘱託教授(短時間)

(都市・環境系担当)

富塚 直樹

(北海道大学総務企画部総務課主
任(総務担当))

総務課施設管理係長

佐々木重晴

(北海道大学医学系事務部係長(営
繕担当))

学生課事務係臨時用務員

遠田 芳紀(新規採用)

〔昇任〕

総務課財務係主任

今野みちる(総務課財務係)

総務課人事係長

酒井 俊輔(総務課調達係長)

総務課調達係長

小笠原智紀(学生課事務係長)

学生課学生係長

村田 雅彦(総務課企画調査係長)

学生課図書係長

吉田 智昭(学生課学生係長)

学生課事務係長

兼宗 昌弘(学生課図書係長)

総務課企画調査係主任

築田 星子(学生課学生係主任)

学生課教務係主任

小田 涼太(総務課企画調査係主任)

学生課学生係主任

関谷 俊一(学生課教務係主任)

総務課財務係

新井田知果(学生課教務係)

学生課学生係

板林麻里愛(総務課財務係)

総務課人事係事務補佐員

三國谷理恵(学生課学生係事務補佐員)

〔育児休業の更新〕

(平成二十九年四月一日～平成二十九年
十二月十八日まで)

工藤 未帆

総務課一般職員

〔雇用期間の更新〕

(平成二十九年四月一日～平成二十九年
十二月十八日まで)

学生課学生係

板林麻里愛



教育理念・学習目標等

(平成25年4月改定)

教育理念

豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、
技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、
社会の発展のために活躍できる人材を育てる。

本科学士の学習目標

- I 人間性：正課、行事、課外活動等を通して、豊かな人間性と教養および自主自律の精神を身につける。
- II 実践性：創造力の基礎として、実践力および将来に向けて自らを向上させる学習習慣を身につける。
- III 国際性：世界に目を向ける姿勢と教養およびコミュニケーションの基礎能力を身につける。

専攻科学生の学習目標

- I 人間性：正課、校外活動等を通して、豊かな人間性と教養および広い視野を身につける。
- II 実践性：複数の視点で物事をとらえて新しい技術を創造する基礎力を身につける。
- III 国際性：グローバルに活躍するための教養とコミュニケーション能力および相互理解の精神を身につける。

※専攻科で育成しようとする技術者像は、「教育理念」および「専攻科学生の学習目標」

「環境・生産システム工学」教育プログラム」の学習・教育到達目標 (対象：本科第4学年～専攻科)

- (A) 教養：地球的視点で自然や環境を考え、歴史、文化、社会などについて広い視野を身につける。
- (B) 倫理と責任：技術者としての倫理観や責任感を身につける。
- (C) コミュニケーション：日本語で記述、発表、討論するプレゼンテーション能力と国際的な場でコミュニケーションをとるための語学力の基礎能力を身につける。
- (D) 工学基礎：数学、自然科学、情報技術および工学の基礎知識と応用力を身につける。
- (E) 継続的学習：技術者としての自覚を持ち、自主的、継続的に学習できる能力を身につける。
- (F) 専門の実践技術：ものづくりに関係する工学分野のうち、得意とする専門領域を持ち、その技術を実践できる能力を身につける。
- (G) 複合領域の実践技術：他の専門領域も理解し、自身の専門領域と複合して考察し、境界領域の問題解決に適用できる応用技術を身につける。
- (H) 社会と時代が求める技術：社会や時代が要求する技術を認識し、それらに応用してシステム化や製品化するデザイン能力、開発能力、とりまとめ能力を身につける。
- (I) チームワーク：自身の専門領域の技術者とは勿論のこと、他領域の技術者ともチームを組み、計画的かつ円滑に仕事を遂行できる能力を身につける。

英語コミュニケーション能力の学年目標

第1学年：英検準2級
第2学年：英検準2級～2級
第3学年：英検2級
第4学年：TOEICスコア 450
第5学年：TOEICスコア 500
専攻科第1学年：TOEICスコア 550
専攻科第2学年：TOEICスコア 600
(大手企業が大学卒業者に求めるTOEICスコアは、およそ600以上)

研究の目的・社会貢献の目的

学術の進展に教育内容を即応させるため、必要な研究を行う。また、研究活動や地域への教育活動等を通して、地域・社会の発展に寄与する。

TOPICS

No. _____
Date _____



始業式・対面式が行われました

4月6日(木)、本校第二体育館において始業式が挙行されました。校長訓話の最後に、新任の先生の紹介がありました。始業式に引き続いて、学生会による新1年生と第2学年以上の在校生の対面式が行われました。対面式では、学生会長と新1年生各クラス代表の挨拶の交換が行われました。



学生寮で入寮式・新入寮生歓迎会が行われました

平成29年4月4日(火)15時より、入学式に先立って本校学生寮において入寮式が行われました。第1学年男子48名、第1学年女子13名、第3学年へ編入する留学生4名、合わせて65名が入寮しました。見藤寮務主事からの入寮許可宣言のあと、在寮生を代表して男子寮・女子寮それぞれの寮長が歓迎の言葉を贈り、新入寮生代表がこれからの決意を込めて宣誓を行いました。

この日から新入寮生達は、それぞれの夢の実現のため、学習環境の整った蒼冥寮・楓和寮での生活をスタートしました。また、4月6日(木)には、新入寮生歓迎会を楓和寮は18時から多目的ホールで、蒼冥寮は19時から食堂で行いました。どちらも例年どおり寮長や指導寮生の挨拶、新入生の自己紹介等が楽しく行われ、楓和寮ではビンゴゲームなども楽しみ、盛会のうちに終了しました。





第2学年オリエンテーションが行われました

4月11日(火) 午後に第2学年オリエンテーションが開催されました。各系の先生の紹介、専門系で勉強する上での心構えや将来の進路等の説明、先輩からの助言などがあり、2年生は真剣に聞き入っていました。系によっては施設見学も行われ、これから自分たちが使うであろう実験室や各種装置に興味津々と言った面持ちで見て回っていました。



第1学年オリエンテーションが行われました

平成29年4月13日(木)から14日(金)の2日間、洞爺サンパレス(洞爺湖温泉)において、第1学年オリエンテーションを実施し、学生・教職員合わせて220名が参加しました。

この行事は、「(1) 高専生活をスタートする上での生活や学習上の注意点を理解する。(2) 学校生活の目標を定める。(3) クラス・学年の親睦を図る。」ことを目的に実施されており、開講式の後、キャリアセンター講演(コミュニケーションゲーム)のほか、学生会との懇談会、教務主事、学生主事からの講和、発表会などが行われました。学生は普段と違った環境の中、真剣に行事に取り組み、クラスを超えた交流も深まりました。



苫小牧市内の中学校でロボットとプログラミングに関する出前授業を行いました

2月24日(金)に苫小牧市立凌雲中学校の1年生を対象とした出前授業を実施しました。テーマは「ロボットとプログラミング」で、中学の技術・家庭科において学ぶマルチメディアの活用やプログラミングと計測・制御などへと繋がるプログラミングの基本的な概念について解説した後、実際に「ET(Embedded Technology=組み込み技術)ロボコン」で使用されているものと同じロボットによる動作デモンストレーションが行われました。

デモンストレーション用のロボットは、テーブルの上に広げられたコースの黒いラインを、カラーセンサによりトレースしながら進むようプログラミングされながらも、トレースの仕方によってわずかに異なる挙動を見せながら進む2台が用意されました。

参加した生徒からは「興味がわいた」「もっと知りたい」との声が多く寄せられました。



北海道警察がサイバーセキュリティに関する講演を行いました

1月19日(木)に情報工学科4年生を対象として、北海道警察サイバーセキュリティ対策本部より「サイバー空間の現状とセキュリティに関する警察業務」というテーマで講演会が開催されました。

今後サイバーセキュリティの重要性が高まると見込まれる中、SNSなどのコミュニケーションツールやコンピュータウイルスの脅威と犯罪手口、最近のサイバー攻撃の現状やその犯罪捜査について、事例紹介を交えた講演を受けました。

サイバー犯罪の現場に携わる警察官からの臨場感あふれるお話や、サイバー捜査はどのように行かなどのお話を伺うことができ、学生も非常に興味深く聞き入っていました。また、ネットワークでの攻撃手法やその法解釈、今後のIoTの普及に伴って生じうる攻撃手法などについて理解を深めることが出来ました。



第10回全国高専英語プレゼンテーションテスト 特別賞受賞

1月28日(土)、29日(日)に、「第10回全国高専英語プレゼンテーションコンテスト」が東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、スピーチ部門に参加した電気電子工学科2年(受賞時)の加藤桃子さんが、特別賞の「日本国際連合協会会長賞」を受賞しました。

詳しい大会の結果やスピーチ、プレゼンテーションのビデオ等は、「全国高専英語教育学会(COCET)」のホームページにて公開されますので、ぜひご覧ください。



高専通信 vol.145

CONTENTS

- 01 新入生へ贈る言葉
- 02 在校生からのメッセージ
新1学年担任からのメッセージ
- 03 各副校長ご挨拶
- 04 新任教員挨拶／新入留学生紹介
- 05 学生会の紹介／行事予定
- 06 学生課からのお知らせ
- 07 卒業生へ贈る言葉
- 08 卒業生・修了生から贈る言葉
- 09 卒業生父母からの言葉／卒業写真館
- 10 平成28年度進路状況
- 11 地域共同研究センター
- 12 退職教員挨拶／人事異動
- 13 教育理念／トピックス

編集後記

平成29年度最初の高専通信では、昨年度末から新年度にかけての本校の動きをお届けします。3月には186名の本科生と28名の専攻科生が旅立っていきました。そして4月には201名の新1年生、4名の留学生、1名の編入生、23名の専攻科生を新たに迎えました。また、新採用教員1名も迎えました。今年の苫小牧の春は暖かい日が多く、ゴールデンウィーク後にはクラブ活動で日焼けした学生が多く見られました。

高専通信では学校の様子は年3回に分けて皆様にお伝えします。最新のニュースは本校のホームページに掲載しております。また、本校のFacebookでもカジュアルな情報も配信しております。そちらもご覧になって頂ければ幸いです。

総務主事 古崎 毅

2017年6月発行

《高専通信に関するお問い合わせ先》

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443 苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係／TEL 0144-67-0213

<http://www.tomakomai-ct.ac.jp/>／メールアドレス pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

